

法人理念	<ol style="list-style-type: none"> 全ライフステージにわたって豊かな生活を送れる地域づくり ライフステージごとに必要な様々な援助サービスが総合的に受け入れられる在宅福祉づくり 生活や仕事や発達援助の拠点としての、また地域に開かれ、地域に支えられた施設づくり 子ども、仲間、親、職員、ボランティア、そして関係するすべての人々が共に成長できる広い意味での教育システムづくり
------	---

支援方針	<p>○安心できる環境のもと、異年齢の仲間たちとともに生活しながらさまざまな遊びや活動を体験し、好きなこと・夢中になれるものに会おうこと、仲間同士のかかわりを豊かにしていくこと、仲間の中で育ち合うことをめざしています。</p> <p>○子どもたちの関心・意欲をふくらませ、子どもとスタッフが対等な関係を築き対話しながら活動をいっしょに創っていくことや、集団の中で生まれた課題を話し合い解決していくことなどを通してコミュニケーション力や主体性・他者性を育てていくことを大切にしています。</p> <p>○思い切りぶつかり合うこと、安心して失敗することも大切にし、まるごとの自分や仲間を受け入れていく力、何度でもやり直せる力を育みつつ、少しずつ変わっていきける自分や仲間を実感できるようにサポートしていきます。</p>
------	---

めざす子ども像	めざす事業所像	<ul style="list-style-type: none"> ○ おとなも子どもも自分らしくいられる場所 ○ おとなも子どもも安心して失敗できる場所 ○ おとなも子どもも対話しながら学びあい、ともに育っていける場所 ○ おとなも子どもも多様性や違いを受けとめ大切にできる場所 ○ おとなも子どもも「自分」も「仲間」も大事にできる場所 ○ おとなの願いと子どもの願いをより合わせていける場所 ※「おとな」=保護者・スタッフ
<ul style="list-style-type: none"> ○「やりたい」ことを見つけ仲間と力を合わせて主体的に取り組んでいこうとすることも ○自分で感じ自分で考え自分の気持ちや仲間と対話しようとするこども ○「失敗しても大丈夫」と仲間といっしょに何度でもチャレンジしようとするこども ○仲間と思い切りぶつかり合ったり共感し合いながらいっしょに育ちあっていくこども ○まるごとの自分、まるごとの仲間をうけとめていこうとすることも 		

本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食事・排泄・着脱・清潔などにかかわる日常生活動作を獲得(必要に応じて学校や、療育事業所とも連携をとりながら)していけるように、また生活の流れの見通しを持って本人が主体的に取り組んでいけるように、サポートしていきます。 ・中高生は卒業後や自立を見据えた生活文化の獲得につながる活動(掃除、洗濯物干し、買い物、食事作りなどに伴うさまざまな段取りも含めて)もいっしょに計画していけるように模索していきます。 ・それぞれの体調の変化の把握や、事業所の感染症予防に努め一人一人が安心して生活できる環境を整えています。 	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所での活動の様子、仲間との関わり、変化や成長など日常的に共有しながら、家族・兄弟を含めた家庭での悩み、大変さなどいつでも相談できる環境を整えていきます。(必要に応じて専門機関や専門職へ繋いでいくことも支援します。) ・保護者同士がつながっていける交流の機会や悩んでいることを学び合っている機会も模索していきます。
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中での五感を使った体験活動(海・川・磯遊び、木登り、虫取り、草すべりなど)や運動遊びを日常的に仲間といっしょに楽しんでいく中で、体幹を強めたりや自分の身体の動きをコントロールしていく力を育てていきます。 ・仲間にあこがれてチャレンジしたい気持ちをふくらませながら何度も挑戦していけたり、運動が苦手でも仲間といっしょに身体を使って遊ぶおもしろさや楽しさを実感していけるようにサポートしていきます。 ・全身運動をたっぷり楽しみつつ、手指の細やかな動きにもつながっていくように「やってみたい」製作活動やクッキング活動なども工夫していきます。 	地域支援 ・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や関係機関との情報共有、必要に応じての連携会議などを通して子どもへのまなざしが深まり、支援のあり方をより合わせていけるように努めていきます。 ・地域の子どもたちや地域の方々との交流が生まれ、相互理解がふくらんでいくことも模索していきます。
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しを持って主体的に行動できる工夫や、安心して遊べる環境づくりなど子どもたちと対話しながら整えていきます。 ・危険につながる行動が予測できる時には事前に子どもたちとルールや約束を話し合っ決め、確認していくようサポートします。ワクワクすることにもたくさん出会え興味や関心が広がるような環境やアイデアの提案も工夫していきます。 ・自分の気持ち、相手の気持ちに気づき、ぶつかっても対話しながら心地よい関係が築けたり、自分も仲間も「変わっていけるステキな存在」と自己理解、他者理解が深まるような活動の模索や、対話を重ねていきます。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・移行先や卒業後の生活が安心できるものになるように、移行先の事業所や相談支援事業所、各関係機関と連携(情報提供・支援の方向性の共有など)を図っていきます。
	言語 ・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフや仲間との安心できる関係づくりを土台に、伝えたいことがふくらむようさまざまな体験を重ねていきます。思いを言葉に変えていけるように、ていねいな傾聴、ゆっくりわかりやすい語りかけなど日頃から大切にしていきます。 ・ぶつかり合いの場面など言葉での発信がむずかしい時にはその時の気持ちを受け止め、スタッフが代弁したり気持ちの橋渡しをしつつ、思いの表出・言語化・相互理解につながるようにサポートをしていきます。 ・やってみたい活動、集団の課題についてなどの話し合い活動を通して意見表明したり、意見をより合わせていく力を育てていきます。 	職員の質の向上	<p>【事業所内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前日の子どもの姿の共有、日案に基づいた打ち合わせの中での実践検討 ・実践後のふりかえりの中での個別ケース検討、対応の協議 ・毎月のスタッフ会議で、スーパーバイザーのサポートを受けながら事例検討(多面的な視点で子どもの姿を深く捉え直し対応のあり方の検討・研修を重ねている。)

	人間関係・社会性	<p>・スタッフが子どもにとって大好きな大人になれるよう、好きな遊びを通して仲間同士つながっていけるよう支援していきます。</p> <p>・思い切りぶつかり合うことや失敗することは保障し、スタッフが仲立ち・対話しながら互いの気持ちに気づき自分の思いを少しずつコントロールしていける力や、自分も仲間も多面的に受け止めようとする力を育てていけるようにサポートします。</p> <p>・好きな遊びやワクワクできる活動で仲間とつながるおもしろさをたっぷり感じあい、うまくいかなくてもケンカしても何度でもやり直していける仲間同士の関係性が育まれるような集団作りをめざしていきます。</p>
--	----------	---

	<p>・虐待防止・人権擁護・身体拘束・感染対策・BCP委員会などへの参加、訓練、振り返り研修実施など</p> <p>【事業所外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人研修（年3回） ・子ども部会関係の研修 ・県内外の研究団体研修など各種研修会への参加など
--	---

主な行事・活動内容	<p>【おもな行事】</p> <p>七夕 / 夏祭り / ハロウィン / クリスマス会 / お別れ会など</p> <p>【おもな活動内容】</p> <p>公園・体育館遊び/製作活動/クッキング/磯・海・プール・川遊び/話し合い活動/好きなチーム(ダンス、製作、生き物探し)での活動など</p> <p>※子どもたちのやりたいこと、行きたい場所などスタッフといっしょに話し合っ活動に活かし、いっしょに準備していきます。</p>
-----------	---

開所時間	学校日(10:00～19:00)、学校休業日(9:00～18:00)
支援時間	学校日(14:00～18:00)、学校休業日(9:00～17:00)
開所日	日・祭日、年末年始、お盆休み(8/13～8/15)以外の日
送迎実施の有無	あり